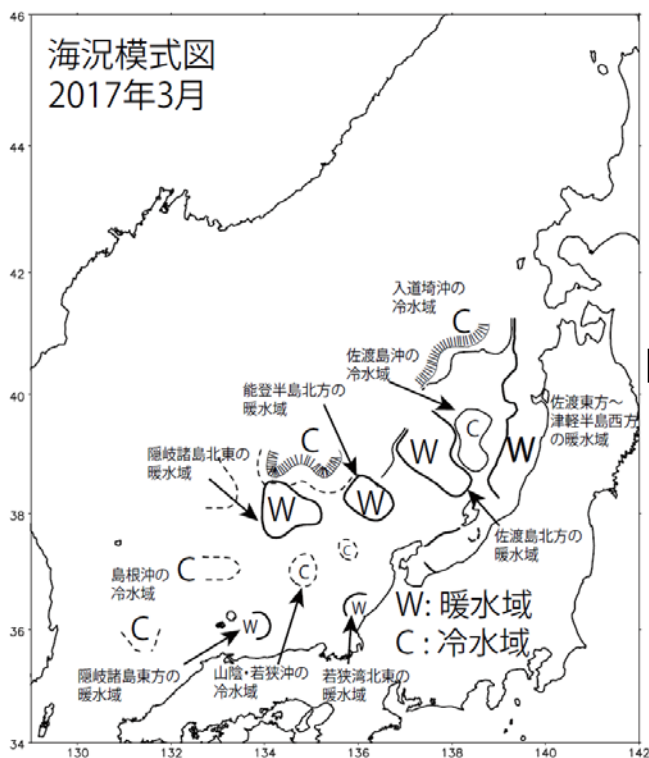


## 平成29年度 第1回 日本海海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
 日本海区水産研究所がとりまとめた結果 —

### 今後の見通し(平成29年4月中旬~6月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は”やや高め”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに”やや高め”で経過する。



### 2017年4月中旬~6月の海況

- 隠岐諸島東方の暖水域は東に進み能登半島西方に分布
- 隠岐諸島北東の暖水域は勢力を縮小しつつ停滞
- 若狭湾北東の暖水域は東に進み、佐渡島東方~津軽半島西方の暖水域と合体
- 能登半島北方の暖水域は勢力を拡大しつつ停滞し、佐渡島北方の暖水域と合体
- 佐渡島北方の暖水域は縮小しつつ停滞
- 佐渡島東方~津軽半島西方の暖水域は停滞
- 島根沖の冷水域の張り出しはかなり小さく接岸状況は平年並み
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しはやや小さくやや離岸
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みでやや離岸
- 入道崎沖の冷水域の張り出しはかなり小さくかなり離岸

### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、江連

資源環境部 渡邊、本多

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

# 平成29年度 第1回 日本海海況予報

## 1. 今後の見通し（2017年4月中旬～6月）

- (1) 隠岐諸島東方の暖水域は東に進み能登半島西方に分布する。隠岐諸島北東の暖水域は、勢力を縮小しつつ停滞する。若狭湾北東の暖水域は東に進み、佐渡東方～津軽半島西方の暖水域と合体する。能登半島北方の暖水域は勢力を拡大しつつ停滞し、佐渡島北方の暖水域と合体する。佐渡島北方の暖水域は縮小しつつ停滞する。佐渡東方～津軽半島西方の暖水域は停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく接岸状況は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並みでやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さくかなり離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“やや高め”で経過する。

## 2. 経過（2016年11月～2017年2月）

- (1) 11月に隠岐諸島北東で見られた暖水域は12月、2月にはほぼ停滞。11月に能登半島北西に見られた暖水域は、やや南東に進み2月には能登半島北方に分布。11月に能登半島北東に見られた暖水域は停滞。2月に若狭湾に暖水域が出現。11月に佐渡島北方で見られた暖水域は12月に秋田西方、2月に青森西方に移動。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月は規模はかなり小さく接岸状況は平年並み、12月はかなり小さく接岸状況は平年並み、2月はデータが少なく不明。山陰・若狭沖の冷水域は、11月は規模は平年並みでやや離岸、12月は規模はかなり大きくやや接岸、2月はデータが少なく不明。佐渡島沖の冷水域は、11月は規模はやや小さくやや離岸、12月、2月はやや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、11月、12月、2月は規模・接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温  
11月は、隠岐東方で“やや低め”、若狭湾東部～能登半島西方、山形県西方、青森県西方で“はなはだ低め”以外は概ね平年並み。12月は、但馬北方、佐渡西方、秋田県西方～北海道西方にかけて“はなはだ低め”、山口北方で“はなはだ高め”。2月は、山口県～若狭湾で“やや高め”～“はなはだ高め”、能登半島北東で“やや高め”～“かなり高め”以外は概ね平年並み。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、11月は日本海北部及び西部ともに“平年並み”。

## 3. 現況（2017年3月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島東方、隠岐諸島北東、若狭湾北東、能登半島北方、佐渡島北方、佐渡東方～津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はかなり小さく接岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、規模はやや小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模はやや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、規模はかなり小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、但馬北方、佐渡北西で“平年並み”、山形沿岸で“やや低め”以外は概ね“やや高め”～“かなり高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部で“かなり高め”西部で“やや高め”。

(註) 引用符（ ” ” ）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| ” はなはだ高め（低め） ” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| ” かなり高め（低め） ”  | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ） |
| ” やや高め（低め） ”   | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ）    |
| ” 平年並み ”       | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温   |

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター  (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所